

パズル道場全国大会に出場して

野見山 徳子

私は、今回初めてパズル道場の全国大会に出場しました。前日の初めての東京観光が楽しめないほど、ドキドキしていてどんな雰囲気か、どんな人が来るのかなと思っていました。会場に着くと、開始一時間前なのに、長蛇の列が出来ていて、この人たちと戦うと思うと、緊張がさらに高まりました。

競技中は、消しゴムの使用は禁止。休憩中も審査員が、走っていないかなど、チェック。もしも、ルールを破っていたら減点。しかも、見学者の中に紛れて、隠れ審査員もいるという、ものすごい緊張感の中でやるパズル道場は、まさに究極の特別授業でした。

競技Aの映像問題は、始めは緊張で考える事が出来ず、解くことが出来なかった問題もありました。途中から落ち着いて、考える事が出来、自分としては思っていた以上に冷静に取り組むことが出来ました。しかし、競技

Bの立体四目は、六勝八敗で、良い結果を残す事が出来ませんでした。三秒以内に玉を打っていかないといけない状況と、強い相手の手の打ち方に圧倒され、とっさの判断が出来ませんでした。また出場する機会があれば、今回の経験を生かし、しっかりと作戦を立てて臨みたいと思います。結果は、七十七位で、百位以内、しかもラッキーセブンで、とてもうれしかったです。頑張って挑戦してよかったですと思いました。

来年は、もっと上位に入れるよう日々の練習を大切に努力していきたいと思います。